

## 地域の子供たちの安全・安心を守る「TOKYO こども見守りの輪プロジェクト」に参画

日産東京販売ホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、社長：竹林 彰）は、このほど東京都が実施する「TOKYO こども見守りの輪プロジェクト」に参画し、6月10日に東京都との覚書を締結しました。今後、日産東京販売株式会社の店舗やグループ会社の事業所において、地域の子供たちの安全・安心を守る活動に取り組みます。



小池東京都知事との覚書締結式の様子

「TOKYO こども見守りの輪プロジェクト」は、東京都が2022年に開始した、子供の安全・安心を考える地域に密着した事業者と連携して推進する取り組みです。親子で訪れる機会が多い商業施設等の事業者と連携して、啓発動画の放映、イベント共催、店舗従業員への働きかけなどを行い、親子の防犯意識向上や、地域ぐるみで子供たちの安全・安心を担う社会気運の醸成を図り、犯罪や事故から子供たちを守ることを目的としています。

日産東京販売株式会社は、東京都内に108の新車販売店（ルノー車を販売する店舗を含む）と18の中古車販売店を有するなど、東京を中心としたモビリティ事業を展開しています。また当社は、企業理念における大切にしている価値観として「地域との共生」を掲げ、地域および社会に貢献する活動を積極的に推進しています。この価値観に基づいて、企業市民としての役割をしっかりと果たしていくため、親会社である日産東京販売ホールディングス株式会社にて2023年8月に「社会貢献推進プロジェクト」を発足し、当社グループの特長を活かした最適な社会貢献活動を検討してきました。

この考え方にに基づき、東京に多くの拠点を持つ当社として、地域における子供たちの安全・安心を守るという東京都の取り組みに賛同し、本覚書の締結を行う運びとなりました。

当社は今後、本覚書に基づき、店舗における啓発活動やイベントへの参加など、地域のみなさまの安全を守り、安心をお届けするために、様々な取り組みを進めてまいります。

以上